

北原グループ
医療法人社団 KNI
看護師募集案内

RECRUIT



どこよりも
看護師が主役になれる病院へ



NURSE RECRUITMENT

看護師募集案内



知恵と癒しで 医療を変える、世界を変える

進む少子高齢化、医療財源の枯渇。多くの人がこれまでの医療や社会の在り方ではいけないと気づき始めています。医療の役割は、病院の中で病気になった患者さんを治すことだけではなく、誰もが最期に幸せだったと思える人生を送ることができる社会をつくること。私たちは、本来、医療はそうあるべきだと考えています。医療と世界を「本来あるべき姿」に変え、東京都八王子市から日本中に、そして世界に拡げていくことが私たちの仕事です。

HOSPITAL CONCEPT 病院コンセプト

あの病院に行けばなんとかしてくれる 私たちはあなたのあの病院を目指します。

私たちはこれまで、あなたの「あの病院」になるために、東京都の八王子市で脳神経外科の疾患を中心に診療を行っています。北原国際病院では 24 時間 365 日、救急患者さまを受け入れ治療し、北原リハビリテーション病院では、徹底的な自立を目指すリハビリテーションを行います。北原RDクリニックでは予防のための検診を、北原ライフサポートクリニックでは定期的な外来診察を行なっています。さらには北原グループの株式会社 KMSI と協力し、北原トータルライフサポート俱楽部として従来の医療にとらわれない、皆さまの自宅での生活を包括的にサポートするサービスも展開しています。予防、救急、手術、リハビリテーション、そして「人生すべて」を一貫してサポートする。これからも変わり続ける社会の中で、これまでと変わらずに皆さまが困った時にいつでも頼っていただける「あの病院」を目指し続けます。



北原国際病院
急性期の患者さまを治療



北原リハビリテーション病院
自立を目指すリハビリテーション



北原 RD クリニック
予防のための検診



北原ライフサポートクリニック
退院後の定期的な診察

声(おもい)をひきだす看護の創造

患者さまの声(想い)をひきだす

患者さまは意識障害や失語症のため自分のニーズ・想いを表すことができなかったり、突然の怪我や病気・手術等で、大きな戸惑いや不安を抱えています。患者さまの声にならない声をひきだし、想いにひとつひとつ応えていきます。

ご家族さまの声(想い)をひきだす

突然の病気や入院などに直面され、多くのご家族が不安と心配でいっぱいになられます。ご家族の声・想いを尊重し、安全で質の高い看護を提供します。

仲間の声(想い)をひきだす

最良の看護は一人の力では達成できません。すべてのスタッフの力と心を合わせるためにも、仲間であるスタッフの声・想いを引き出し大切に紡いでいきます。

あなたの声(おもい)を聞かせてください。



北原国際病院

救急・手術からリハビリテーション・在宅まで一貫した医療を提供

KITAHARA N.L

診療科目

外来診療：脳神経外科・脳神経内科

循環器内科・リハビリテーション科

病床数

入院診療：脳神経外科

99 床

脳卒中の治療実績、東京都上位 脳の疾患を中心に一貫した看護を提供

*2022年12月25日発行 読売新聞より

北原国際病院は、脳神経外科を中心とした救急病院です。

「救急・手術からリハビリ・在宅まで一貫した医療の提供」を病院の基本方針とし、八王子を中心に、24時間365日、患者さまが困った時にいつでも来れる病院を目指しています。当院の看護師は、病棟配属ではなく「法人配属」という形をとります。全ての病期で患者さまを見ることができる看護師であるために、病棟間を回る仕組みを採用しています。また外国人研修生の受け入れも積極的に行っている国際色豊かな病院です。



早瀬 恵美 EMI HAYASE

看護専門学校・看護大学を卒業し
2004年4月に北原国際病院へ入職。
急性期病棟に配属後、2008年から
手術室、カテ室、救急外来にて勤務。
2013年に脳卒中リハビリテーション
看護認定看護師を取得。
2022年特定行為研修終了。
現在は、新卒看護師の教育を担当。

私は、救急から手術・入院治療を経て在宅まで看られることと、常識にとらわれない医療に魅かれて入職しました。

新人時代は学習が追いつかず挫折しそうになりましたが、救急外来や手術室を兼務すると、看護の力で患者さんの回復をサポートできるという脳外看護の魅力に気づきました。更に、認定看護師になり毎日繰り返し行っていたケアが、専門知識によって予後を左右する高度な看護になることを学び、今は教育担当者として私が学んできたことを後輩へ伝える仕事をしています。また、意識障害や失語症の患者さんが「ありがとう」の一言が言えずに苦しんでいることに気づき、“患者さんの声を聴き代弁する看護”を続けることが私の目標です。患者さんの声を聴く・意識を改善する為の早期離床や、離床に耐えられる身体を作るための二次合併予防など、一緒に協力しあえる仲間を増やしていきたいと思っています。

脳卒中は時間との勝負！ 最短で治療するために独自のシステムを採用

脳卒中医療、それは時間との勝負です。発症から治療までの時間を要するほど、身体に重篤な後遺症が残るおそれがあるからです。

当院は 24 時間 365 日、救急患者の受け入れを行っているだけでなく、最短で治療を進めるために独自のシステムを採用しています。

多くの病院では、看護師は救急外来、手術室、病棟など一部署に固定配属されますが、当院では看護師が部署を越えて勤務するシステムを一部採用しています。手術が必要な患者さまが搬送されてきた場合、救急外来の看護師が救急処置を行い、そのまま手術看護師として手術にも入ります。こうすることで部署間の申し送り時間の削減や一貫した治療の提供が可能となり、最短で治療することが可能です。当院の看護師は常に患者さまに何が必要かを考え、挑戦し続けています。



研修医並みの知識と技術を持った 看護のスペシャリスト



「患者さまにとってよい医療とは何か？」を考えた時、もっとも患者さまの近くにいる看護師の役割は非常に大きなものです。医師と一緒に、看護師が自ら考え、患者さまを回復させる体制を実践しており、「医師の指示に従うだけではなく看護師も治療における知識を身につけて看護をする」看護師を育てています。責任は大きいですが、それ以上のやりがいと成長のための経験を得られます。

目指すは研修医並みの知識と技術を持った看護のスペシャリストです。

脳を救うため、最適な治療を提供

当院は、東京都八王子周辺で脳血管内治療専門医が在籍する数少ない病院で脳梗塞新規入院件数東京都1位・脳出血新規入院件数都内2位など、脳卒中の治療実績は東京都上位を誇っています。

(2022年12月25日発行 読売新聞 病院の実力「脳卒中」より)

当院の特徴は血管内治療と開頭手術をバランスよく行っていることです。血管内治療を行うべきか、開頭手術を行うべきか、患者さまの病状によって最適な方法は違います。「どちらが優れている」ではなく、「どちらが患者さまにとってメリットが多いか」という視点で最適な手術方法を選択しています。



北原リハビリテーション病院

人と自然と技術の調和 未来の医療を発信「デジタルホスピタル」



診療科目

外来診療：脳神経外科

入院診療：脳神経外科

病床数

94 床

短い入院期間でしっかりよくする リハビリテーション専門病院

脳卒中後遺症が回復するゴールデンタイムは発症から 3ヶ月間と言われています。この期間にどれだけリハビリテーションを行えるかで回復度合いは変わってきます。当院では、24 時間 365 日のリハビリテーションを院内でのリハビリテーションだけでなく、自然や動物と触れ合える環境を利用した介入や、入院早期から退院後の生活を想定した自宅での超実践的なリハビリテーションを行います。「よくなりたいと本気で考え、努力することができる」患者さまが自立するためのリハビリテーションを徹底的にサポートします。



太田 麻衣子 MAIKO OTA

看護学校卒業後、総合病院、精神科病院勤務を経て 2011年に医療法人社団 KNI入職。北原リハビリテーション病院配属。震災の翌年 2012年には東北復興プロジェクトで被災者へのヒアリング調査や宮城県の北原ライフサポートクリニック東松島での勤務も経験。現在は、北原リハビリテーション病院にて、病棟チーフの役割を担っている。

私は、これまでの経験を活かしつつ新しいことにチャレンジしたいと思い転職活動をスタートしました。いくつか病院見学をする中で、病院らしくない雰囲気と家族ボランティア制度や海外事業など他とは違う取り組みに魅力を感じ入職を決めました。

初めて経験する回復期は不安や緊張の連続でしたが、教育体制が整備されており基礎から学ぶことができました。

回復期では退院後の生活を見据えた介入が重要です。

当院は職種の垣根を越えて“患者様に必要なことは何か”を一緒に考え行動していくことができる職場です。また、急性期と違い回復期は長期戦です。患者さんは思うようにリハビリが進まず、不安や焦りを抱える時期もあります。

季節ごとの花が咲く庭園やヤギに癒されながら、安心してリハビリができる環境を提供していきたいと考えています。

SUNRISE JAPAN HOSPITAL

日本初のアウトバウンド型医療輸出



カンボジア全国民に適切な医療を提供する

2016年にカンボジアの首都プノンペンにオープンした最新鋭の設備を備えた救命救急センター「SUNRISE JAPAN HOSPITAL, Phnom Penh」。ここで行っているのは、カンボジアに「地産地消の医療」を作り出すアウトバウンド型の医療輸出です。当院は現地で高い評価を受けており 2023 年にはプノンペンにサテライトクリニックをオープンしました。SUNRISE JAPAN HOSPITAL では、日本人スタッフとカンボジア人スタッフが高品質な医療を提供するだけではなく、人材教育、サービス開発をとおして、カンボジアの医療と社会の発展に貢献しています。



平敷 理沙 Risa Hirabayashi
急性期総合病院の脳神経外科病棟で臨床経験を積んだ後、カナダへ語学留学。2020 年に北原グループへ入職し、カンボジアの Sunrise Japan Hospital Phnom Penh へ赴任。2025 年の帰任後は、海外事業の推進と人材育成に携わり、国際展開を看護の視点から支えています。

留学経験と看護師としてのキャリアを通じ、海外で自分の経験を生かし社会に貢献したいという思いから入職しました。北原国際病院で質の高い脳外科看護を学び、実践力を身につけたうえでカンボジアへ赴任しました。公的保険制度がなく自費診療が前提となる医療環境では、患者さん一人ひとりの期待に応える高水準の医療サービスが求められました。現地では日本の資格を生かして臨床に携わるとともに、医療現場での業務指導や看護師の専門性向上を目的としたスペシャリストナースの育成にも取り組みました。日本で培った看護実践と現地の医療文化を丁寧にすり合わせながら、カンボジア人スタッフと共に挑戦を重ね、自身も大きく成長することができました。

これらの経験を今後の事業に生かしていきたいと考えています。



笹原 由貴 Yuki Sasahara

一般病棟勤務**Q1. 北原を選んだ理由は？**

海外で看護師として働く夢があり、北原グループならビジネスとして海外に挑戦できる事に魅力を感じ応募しました。見学時に職種の壁がなく雰囲気が良いことも決め手でした。

Q2. 部署の雰囲気はどう？

年齢や経験年数に関係なく、職種を超えて協力しながら患者さんを支える雰囲気があります。上下関係が強くないので何でも相談しやすく、助け合いが自然に根づいた職場だと感じています。

Q3. やりがいに感じていることは？

動けなかった患者さんが動けるようになる過程を、現場で実感できることがやりがいです。家族の支えやリハビリの継続、ご本人の「したいこと」で変化が生まれ、笑顔が見られる瞬間にやりがいを感じます。

TANG THI NGOC ANH タンティ ゴックアイン **急性期病棟勤務****Q1. 北原を選んだ理由は？**

海外で働く夢があり、友人の勧めでEPA制度を利用してベトナムから来日しました。北原病院の方が丁寧に説明してくれたことや、先輩のベトナム人スタッフから学べる環境にも魅力を感じたことが選ぶ決めてとなりました。

Q2. 部署の雰囲気はどう？

職種の壁がなく相談しやすい職場で、判断に迷う時もすぐ周囲に頼れます。外国人だからと差別を感じることではなく、困った時には「手伝うよ」と声をかけてくれるので、とても働きやすいと感じます。

Q3. やりがいに感じていることは？

急変時に迅速に対応し、患者さんへ適切なケアを提供できた時にやりがいを感じます。さらに、多職種チームで連携しながら一緒に対応し、最善を尽くせる点にも魅力があると思います。



早乙女 葵 Aoi Saotome

回復期病棟勤務**Q1. 北原を選んだ理由は？**

祖母が転倒し救急搬送されたことがきっかけで病院を知り、職員の対応や雰囲気がとても印象に残りました。見学でも温かい雰囲気を感じ、「ここなら成長しながら働ける」と強く思えたことが決め手です。

Q2. 部署の雰囲気はどう？

リハビリ病院に配属されたとき、まず先輩方が本当に優しかったです。年次が一番下で一人配属でしたが、不安になる暇もないくらい先輩が声をかけてくれて、困ればすぐ相談でき、挑戦したいことは背中を押してくれる環境です。

Q3. やりがいに感じていることは？

患者さんの「できるようになった瞬間」に立ち会えることが、一番のやりがいです。歩行距離が伸びたり、動作ができるようになったり、表情が明るくなったり、その姿を見るたびに「一緒に頑張ってよかった」と実感します。

各部署ではたらく先輩の声(おもい)



久留宮 民子 Tamiko Kurumiya

救急外来勤務

Q1. 部署の雰囲気はどう？

救急スタッフは、目の前の状況を即時に判断・処理しながら動くため、現状を捉える「アセスメント脳」と先を読む「予測アセスメント脳」で働いています。救急外来の雰囲気を一言で表すなら“大家族”。年代も幅広く、個性豊かな仲間に支えられています。今は私の方が若手から学ぶことが多く、情報収集の速さやPC操作まで助けられる日々。若手も否定されず挑戦できる場所だと思います。

Q2. やりがいに感じていることは？

昨年、父が脳出血で緊急入院し、重度麻痺と意識障害の状態でした。急性期を経て転院しましたが、その過程で「北原病院は目の前の患者さんに全力で向き合う病院だ」ということを改めて実感しました。医師・看護師・リハスタッフ・ケアワーカー・栄養士・MSWなど、多職種が一丸となり最大限の医療を提供してくださったことに、心から感謝しています。



森口 真由美 Mayumi Moriguchi

手術室勤務

Q1. 部署の雰囲気はどう？

手術室は「ブラックボックス」のように見えがちですが、当院の手術室はオープンな雰囲気があります。他部署との交流も多く、職種や役職に関係なく、縦横のつながりを大切にしながら働ける環境です。日頃から情報共有や声かけが自然に行われ、チーム全体で患者さんを支える一体感のある部署だと思います。

Q2. やりがいに感じていることは？

手術室は高度な知識と技術が求められる特別な現場だからこそ、そこで培った専門性を活かして患者さんの命と回復を支えられることに大きなやりがいを感じます。術前・術中・術後の安全を守り、チームの一員として手術が円滑に進むよう環境を整えることは、患者さんだけでなく手術に挑む医師の支えにもつながります。その瞬間ごとに責任と誇りを実感できる仕事です。



安藤 匡史 Masafumi Andou

血管内治療室勤務

Q1. 部署の雰囲気はどう？

一つの目標に向かってチームがまとまり、仲間意識の高い雰囲気の部署です。勤務調整にも柔軟に対応でき、働きやすさを実感できます。多職種と日常的に関わるため、看護の枠を超えた学びが得られるのも特長です。医師や放射線科スタッフが身近におり、症例を通して疑問をその場で解消しながら、知識と視野を着実に広げることができます。

Q2. やりがいに感じていることは？

脳外科に特化した病院として、特に力を入れているのが救急医療です。その中でも私たちがかかわっている血管内治療は、この10年で治療の在り方が大きく進化してきました。かつては十分なエビデンスがなかった治療も確立され、同じ疾患でも後遺症なく退院できる患者さんが増えています。医師と共に新しい医療を創り上げ、主体的に関われる点に大きなやりがいを感じられる職場です。

病棟を超え、発症から回復まで 患者さまを看るローテーション研修

北原グループでは、法人全体での研修と、看護科での研修を行っています。

法人研修では、様々な研修を通して、グループ全体の方向性や考え方、柔軟な思考力の習得などを目指します。

看護科研修では、「病期で区切らない看護」「病院・病棟（部署）の垣根のない看護」を目指し、看護科内全部署のローテーション研修を行っています。この研修を行うことで、急性期に配属した場合でも、二次合併症や廃用症候群の予防ケアを意識した看護や、回復期を想定した声掛けを患者さま・ご家族にできるようになります。また、回復期病棟に配属した場合でも、急性期での治療内容の把握がスムーズにでき、質の高い再発予防の指導などを行うことができます。更に、研修を通して得られるスタッフ同士の関わりは、部署間のコミュニケーションを円滑にします。お互いの部署の役割について理解し合い、連携を深める事で、チーム一丸となって患者さまの回復力を高めていく北原グループの看護の質の向上に役立っています。

また、新卒看護師はこの研修を通して「看護師免許で認められている全ての技術習得」を目指します。看護師として患者さまと向き合うために、「できる」を増やします。更に、この研修を通して配属先を決定します。「自分がどんな看護がしたいか」、「自身のキャリアをどこからスタートさせたいか」など、実践を踏まえてじっくりと考えることが可能です。

こうして働く場所を自ら選んだスタッフの成長はとても頼もしいです。



新卒ローテーション研修例

4月	5月	6月	7月	8月	9月	翌年
法人研修						看護科研修
入職時研修 看護科技術研修	救急外来 一般外来	血管内 治療室 手術室	回復期病棟	急性期病棟	本配属	症例発表

*5月以降も法人研修への参加あり * 研修の順番は変更の可能性あり

既卒 / 中途入職者ローテーション研修例

法人研修	1日	2日	3日	4日	5日	6日
看護科研修						
入職時研修	回復期病棟	救急外来 一般外来	急性期病棟	血管内 治療室	手術室	本配属

* 入職時以降法人全体研修への参加あり

* 配属先により研修内容・期間は異なります。

05 WELFARE PROGRAMME 福利厚生

1 職員寮



北原国際病院の隣にオートロック（バス・トイレ別、先着順）の職員寮があります。

2 リフレッシュ休暇



3年以上勤務したスタッフは、「7日間の休暇+報奨金」又は、「30日間の休暇」が取得できます。

3 サークル活動



野球部、陸上部、フットサル部など職員・家族で参加できるサークルがあります。職種関係なく楽しんでいます。

4 車通勤可能



スタッフ通勤用の無料駐車場が完備されています。

5 ママ・パパ安心院内保育園



6ヶ月～就学前まで利用可能な院内保育園を完備しています。病児保育も行っておりママ、パパも安心です。

6 グループ内の宿泊施設利用



「いろどりの丘」にあるSPA・レストラン・ホテルなどの利用補助制度があります。友人や家族と一緒に利用することもできます。

7 職種や病棟の壁は作らない



私達の職場には職種の壁がありません。お互いに協力し合いながら仕事に取り組んでいます。

8 絆深まる研修



様々な研修を通して、職種を超えた絆を作り、チーム力を育てる為の教育を行っています。

9 多種多様なプロジェクト



海外での医療事業や震災被災地の復興など多様なプロジェクトを行っているので、医療者の枠を超えた自分の可能性を拓げることができます。

医療法人社団 KNI の関連施設



〒192-0045 東京都八王子市大和田町 1-7-23
電話番号 042-645-1110



〒192-0012 東京都八王子市左入町 461
電話番号 042-692-3332



〒192-0904 東京都八王子市子安町 4-7-1
サザンスカイタワー八王子 1F
電話番号 042-692-3332



〒192-0045 東京都八王子市大和田町 4-1-18
電話番号 042-656-2221



〒981-0416 宮城県東松島市野蒜ヶ丘 2-25-2
電話番号 0225-25-7577



Phum 2, Sangkat Chroy Changvar,
Khan Chroy Changvar, Phnom Penh
電話番号 +855-23-432-022

